

元気がわら版

庄原市社協だより4月号【Vol.132】

これから変わる介護予防と地域でできること

3月16日 地域づくり研修会 開催



講師 医療法人永和会 老人保健施設かなえ
施設長 小山 ^{たかし} 峰志氏

10年先も住み慣れた地域で安心して暮らし、地域住民とともに「なんとかなる」地域づくりを進めることを目的に開催しました。

これからの地域(まち)づくりについて市民、行政職員、自治振興区関係者などが共に学びました。



P1…地域づくり研修会
P2…平成28年度事業計画・平成28年度予算
P3…平成28年度事業計画・平成28年度予算
P4…地域の支えあいづくりの集い

P5…地域の支えあいづくりの集い
P6…よろず相談・福祉活動応援事業・お知らせ・おでかけ応援隊寄付
P7…寄付金紹介
P8…地域のものがたり(高野)・広告

平成28年度 事業計画

【基本理念】

「住み慣れたわが家や地域で安心して暮らしながら、お互いが気に掛け合い支えあい、喜び(生きがい・役割)を感じながら暮らす、市民協働による福祉のまちづくりを進めます。」

重点項目

■いつまでも安心して住める地域をめざす仕組みづくりの促進

- (1)安心して住める地域の基盤となる「見守り」「集いの場」「地域の支え合い」づくりの支援と促進
- (2)地域のこれからの10年を展望した地域づくりを考える集いの開催

個別計画

1. 法人運営事業

- (1)社協運営に係る諸会議
理事会、評議員会、監事会、政策企画会議等の開催
- (2)研修会の開催
役員評議員研修、管理職研修、職員研修等の開催

■地域包括ケアシステムへの対応

- (1)生活支援コーディネーターの受託予定
- (2)協議体の設置にかかる仕組みづくりの検討と設置
- (3)自治振興区や行政等との連携を深める研修会の開催

■組織体制の見直し

2. 指定管理施設事業

- ふれあいセンター
保健福祉センター
高齢者生活支援ハウス
たかの温泉

3. 地域福祉事業

- (1)よるず相談365事業
24時間365日相談の受付
弁護士や司法書士による専門相談、権利擁護セミナーの開催



サロン世話人研修会

(2)サロン事業

- 小地域サロン
生きがい創造型サロン
地域で集まる場づくり、気に掛け合う仲間づくり、社会貢献活動など

(3)外出支援事業(おでかけ応援隊)

- 福祉専用車両による外出支援活動
- (4)やまびこネット365事業
住民のちょっとした困りごとを有償のボランティアがお手伝い
- (5)在宅介護者支援交流事業
介護に関する知識や技術の習得・介護者同士の交流の場

(6)生活べんり品貸出事業

- 一時的な使用の福祉用具
ベビー用品の貸出

(7)寝具類等乾燥消毒サービス事業

(8)食の自立支援事業

(9)老人介護支援センター事業

(10)社協広報事業

(11)地域包括ケア推進出前講座事業

学校・地域・職場に出向き、福祉や介護に関する各種講座を実施

(12)介護予防事業

お達者倶楽部
元気づくりセミナー
おやじの集い

男性いきいき講座

中高年男性の会

(13)ボランティアセンター運営事業

ボランティアセンターの運営と活動支援、ボランティア講座の開催

(14)権利擁護事業(福祉サービス)

利用援助事業「かけはし」



介護者同士の交流会

4. **共同募金配分金事業**
- (1) 地域や団体の福祉活動応援事業
 - (2) 福祉教育指定協力校事業
 - (3) こどもサロン事業

- (15) 新しい地域支援事業
おたがいさまの見守り活動、困りごとの支え合いや助け合い活動、「支え合いのつどい」による啓発活動など
- (16) 生活困窮者自立相談支援事業
「たんぼぼ」
- (17) ふれあい給食事業
- (18) 手話ボランティア養成講座事業
- (19) ふれあい便り事業
- (20) 障がい者ふれあい教室事業
- (21) 過疎地有償運送事業
「こまわりくん」
- (22) 比和まるごと家族たなばたまつり事業



先進地から支え合いを学ぶ



保育所で世代間交流(男性いきいき講座)

8. **公益事業**
- (1) 権利擁護サポート事業
 - (2) 障がい者通所事業「ゆめのいえ」

7. **資金貸付事業**
- 緊急生活安定資金貸付事業、生活福祉資金貸付事業

6. **障がい者支援事業**
- 居宅介護、重度訪問介護、移動支援、同行援護

5. **介護保険事業**
- 訪問介護事業、訪問入浴介護事業、通所介護事業、居宅介護支援事業、福祉用具貸与事業

- (4) 歳末たすけあい芸能大会事業
- (5) グッバイ・ひきこもり事業

平成28年度 収支予算

(単位:千円)

(単位:千円)

収入の部		支出の部	
会費収入(一般・賛助)	7,730	人件費	452,022
一般寄付金収入	11,830	事業費	99,897
おでかけ応援隊活動協力寄付金収入	1,700	事務費	79,459
市補助金	88,039	就労支援事業支出	947
市受託金	87,353	緊急資金貸付支出	1,870
地域福祉事業収入	12,397	その他支出(退職給与引当資産支出等)	13,310
就労支援事業収入(ゆめのいえ)	1,285	事業・拠点区分間繰入金支出	11,719
共同募金配分金収入	5,150	本年度末支払資金残高	91,191
介護収入等	419,554		
その他収入(施設管理収入)	10,788		
長期貸付金回収収入	1,870		
事業・拠点区分間繰入収入	11,719		
前年度末支払資金残高	91,000		
合計	750,415	合計	750,415

づくりの集い開催

口和会場 平成28年3月5日 ～元気な地域づくり～

地域とともにある学校をめざして



庄原市立口和中学校 校長 瀬尾 匠史先生
2年 桑野 ^{だいせつざん}大雪山さん、佐々木 ^{けいた}敬太さん、橋岡 ^{みう}実生さん

「学校と地域」「地域と生徒」をつなぐ架け橋として始まった高齢者への朗読ボランティア活動『ホントノキズナ郵便』。活動を通じて、地域の人とつながる喜びや達成感を得ることが出来た。今後は他のボランティア活動にも参加してみたいという意欲も沸いた。

口和のこれまで、これから

庄原市役所口和支所市民生活室 室長 道岡 泰之さん

口和では地域に愛着を感じる一方、買い物など日常生活の不便さを感じている方々も多い。今後、このような地域課題の発掘や解決のための資源づくりが重要。今あるマンパワーや見守りネットワークを活用し、より住みよい口和にしていきたい。

もっと知ろう 認知症

医療法人社団 聖人会 理事長 戸谷 完二先生

認知症は、加齢に伴い誰がなってもおかしくない症状で、完治はしない。しかし、早期発見や様々な症状に合わせた対応により症状は軽減する。認知症を治すのではなく、上手く付き合いながら生活していく方法を考えることが大切。



だいじょうぶ 認知症

(株) 大起エンゼルヘルプ 取締役 和田 行男さん

認知症の理解を深めることで、認知症状のある人たちに優しく接することができる。認知症を発症しても、誰もが「意思」を持っている。一人の「人」として尊厳を守りながら関わりを持つことを大切にしてほしい。

比和会場 平成28年3月12日 ～今のうちからできる 健康や心の貯金について～

生きがいづくりとコミュニティー

古頃 真古頃倶楽部 渡邊 耕三さん
一人一人の持っている知恵と技を出し合い、目的を持って集まることで生きがい、介護予防、地域の活性化に貢献していきたい。

心の栄養貯金 ～中学生・高校生の発表～

戦後70年を迎え、曾祖母の記憶が鮮明なうちに形に残し「普通に生活できる」幸せな比和を作っていきたい。

庄原市立比和中学校3年 長谷川 真優さん

散らばるゴミがなくなることで救われる命もある。まずは自分から不法投棄をしないと宣言する！

庄原市立比和中学校3年 永岡 和喜さん

福祉体験を通して現実問題に向き合うことができ、将来自分は、「訪問看護師になる！」と決めた。

広島県立庄原実業高校1年 筒井 花厘さん

食べることは生きること！農業の魅力を伝え住みたくなる町づくりをし、未来まで残よう「生きる農業」を考えたい。

広島県立庄原実業高校1年 秋田 満理奈さん



自分たちに今できること

比和自治振興区 地域活性化部部長 奥田 順紀さん

今ある社会資源をリサーチしながら比和に合った地域包括ケアシステムの仕組みづくりに取り組んでいく。10年後の自分や地域を考えながら、今の自分にできる「健康や心、生きがいづくり」の貯金をしていきましょう！

＊地域の支えあい

高野会場 平成28年3月19日 ～わかたで まめに 暮らそうや～

庄原市高齢者福祉課の佐々木隆行課長より、「新しい総合事業について」説明いただいた後、兼森保健師、シルバーリハビリ体操指導士、加藤さん、岩瀧さんの指導で、参加者全員で体操をした。



「高子さんの安心は、みんなの安心」と題した人形劇では、高子さんの異変をサロンの仲間が気づき、家族・関係者等が集まり、普段からみんなで話し合うことの大切さ、また、役割や見守り体制の中で誰もが安心して、「わかたで、まめに、暮らそうや」に繋がれることを確認した。

庄原市立高野中学校 3年 犬飼 璃子さん



大ケガをして、たくさんの人に支えられ生活していることに気づいた。今後、みんなが自分にしてくれたように、優しく、強さを持った、人を支えられる人間になりたい。

庄原市立高野中学校 3年 田中 楓馬さん



苦手だった英語に目標を持って取り組むことで、努力すること、あきらめないことの大切さに気づいた。これからの人生で、根気強く、一步一步を大切に頑張りたい。

いつまでも安心して暮らせる地域をめざして...

「おたがいさま」のまちづくりと介護予防

庄原市の高齢化率は40.6%（平成28年2月末現在）となり、少子高齢化・人口減少は進んで、高齢者だけの世帯や認知症を発症する方が増えています。

この数字だけを見ると、人口が減り、高齢者が増えること自体が「問題」と捉えられがちです。しかし、実際には見守りや買い物、移動手段など日常生活を送るうえで支障をきたす高齢者が増えていること、平均寿命と健康寿命に約10年の差があることなどが課題となっています。

そのような中、住み慣れた地域で安心して暮らすための仕組みづくりをすすめるため、自分にできることを考える機会として、庄原市からの委託を受け、自治振興区や庄原市と連携を図り、市内7地域ごとに『地域の支えあいつくりのつどい』を行ってきました。

この事業のねらいは、①身近な課題を地域の中で共有し、課題解決に向けた取り組みを考え、「お互いさま」の気持ちで、地域づくり・まちづくりをすすめること、②住み慣れたわが家で少しでも長く暮らせるように、健康増進・介護予防の視点から日常生活を考える機会とすることにあります。



安心して暮らすための基盤づくり

庄原市社会福祉協議会は、今後も、安心して暮らせる地域の基盤となる『見守り』『集いの場』『地域の支えあい』の仕組みづくりに取り組みます。

よろず相談 のご案内



相談は、24時間365日職員が対応しています。相談は無料です。なお、夜間から早朝（緊急時等）は、下記の専用電話にご連絡いただくと担当者に取り次ぎます。

緊急時等専用電話 ☎080-5239-4085

- **法律相談（弁護士相談）**
※予約制で一人の相談時間が30分以内です。
 - 日時：5月6日（金）12:45～15:45
 - 場所：庄原市ふれあいセンター（庄原市西本町四丁目5-26）
 - 相談内容：賃貸に関するトラブル、交通事故、相続、離婚、借金問題、消費者トラブルなど
- **司法書士相談**
※予約制で一人の相談時間が45分以内です。
 - 日時：5月18日（水）13:00～16:00
 - 場所：庄原市ふれあいセンター（庄原市西本町四丁目5-26）
 - 相談内容：不動産の名義変更、相続登記・遺言、借金の整理、成年後見、会社の登記、簡易裁判所訴訟代理など

その他の相談にも応じています。
お近くの地域センターにお問い合わせください。

お知らせ

市民活動・お互いさまの活動を応援します！

「地域や団体の福祉活動応援事業」のご案内

地域の団体や民間福祉団体、グループが実施する、地域の福祉課題解決に向けたボランティア活動、交流事業、啓発事業等を応援するため、赤い羽根共同募金を財源に、予算の範囲内で事業の助成をします。

- **申請受付期間**
平成28年4月1日（金）～9月30日（金）まで
- **助成額**
1事業（1団体）につき総事業費の2/3まで（ただし、上限3万円）
- **申請方法**
事前にお問い合わせいただき、所定の申請様式でお申し込みください。

地域福祉課：(0824) 72-7120

3月1日から31日までの間に、おでかけ応援隊活動に協力いただいた皆さんです

庄原地域

シグマ塾 様／（株）チューゲイ 様／香面堂 様
医療法人社団 毛利内科胃腸科医院 様
セブンイレブン庄原山内店 様／チェリー美容院 様
西楽寺 様／匿名 様

東城地域

児玉電気管理事務所 様

口和地域

手づくり工房 アーミッシュ 様

高野地域

高野設備（有） 様

比和地域

匿名 様／橋本鍼灸接骨院 様／豊浦順海 様

総領地域

総領町民生委員児童委員協議会 様／永岡茂治 様

協力いただいた皆様、
ありがとうございます。

協力いただいた方の店舗・自宅に、このステッカーを貼っていただいております。



お知らせ

4月から 変わりました

平成28年4月1日～

庄原地域センター	南部地域事務所	庄原地域センター
口和地域センター		口和地域センター
総領地域センター		総領地域センター
東城地域センター		東城地域センター
西城地域センター	東部地域事務所	西城地域センター
高野地域センター		高野地域センター
比和地域センター	北部地域事務所	比和地域センター
総合センター		総務課
		地域福祉課
	居宅介護課	
		総合センター
		総務課
		地域福祉課
		居宅介護課

上記新体制のもと、地域福祉向上のため、努力してまいります。

市民レポート

地域のものがたり



●レポーター名
高野町にお住まいの 渡邊 純子さん

安心して暮らせる ことが本当に幸せ



私たち夫婦は、東日本大震災による原発事故を受け高野町に移住しました。

当時、新婚1ヶ月の私たちは新生活を始めただけでした。農業法人に勤めていた主人は、近々独立するための農場を茨城・千葉エリアで探していましたが、放射能への不安から西日本に移住先を探すことに。

東京出身の私と千葉出身の主人には地方に親戚がなかったのですが、縁あって高野に実家のある元同僚から農地を借りられることになり、私たちも震災から1年後の2012年に思い切って移住しました。

はじめは知り合いもない土地での生活に戸惑いましたが、地域の方々の助けをいただきながら、田畑を整地し、少しずつ自分たちの農業を実現しています。

また、下高自治振興区の地域マネージャー、上高自治振興区で子ども塾の講師等させていただき、地域のコミュニティーづくりにも関わらせていただいています。

移住5年目となった今、空気、水、星がきれいな高野町で四季を楽しみながら安心して暮らせることを本当に幸せに思います。

これからも夫婦共々、自分たちの経験を活かし、地域の活性化や移住体験の情報発信に積極的に関わり、お世話になっている方々へ恩返しをしていきたいと思っています。

広告



**一人で悩まないで
まず相談してください。**

業務のご案内

- 不動産の名義変更 ●成年後見
- 相続登記・遺言 ●会社の登記
- 借金の整理 ●簡易裁判所訴訟代理等

●詳しくはホームページに書いています。

庄原 司法書士

司法書士 飯田 一生
(広島司法書士会所属)

広島北部司法事務所 (訴訟代理権認定第524014号)(司法書士登録番号828号)
〒727-0013 広島県庄原市西本町四丁目20番17号 バルナッシュB2階 TEL0824-72-2315(要予約)

**福祉活動の
応援と宣伝の
一石二鳥!**

市社協だより「元気かわら版」に
広告を掲載してみませんか?

企業の宣伝や市民活動団体のイベント等を募集しています。15,000部を発行し、市内全戸に配布しておりますので、広く市民の目にとまります。毎月20日発行ですので、約1ヶ月前までにご相談いただければ、掲載したい月に広報することができます。

※広告掲載の収益は、社協が行う福祉活動に活用させていただきます。詳しくは事務局に問い合わせください。 電話(0824)72-7120